

前期課程



さかいだ まさき



くしだ じょうた

後期課程

部活動を振り返って

九年A組 坊山 友都

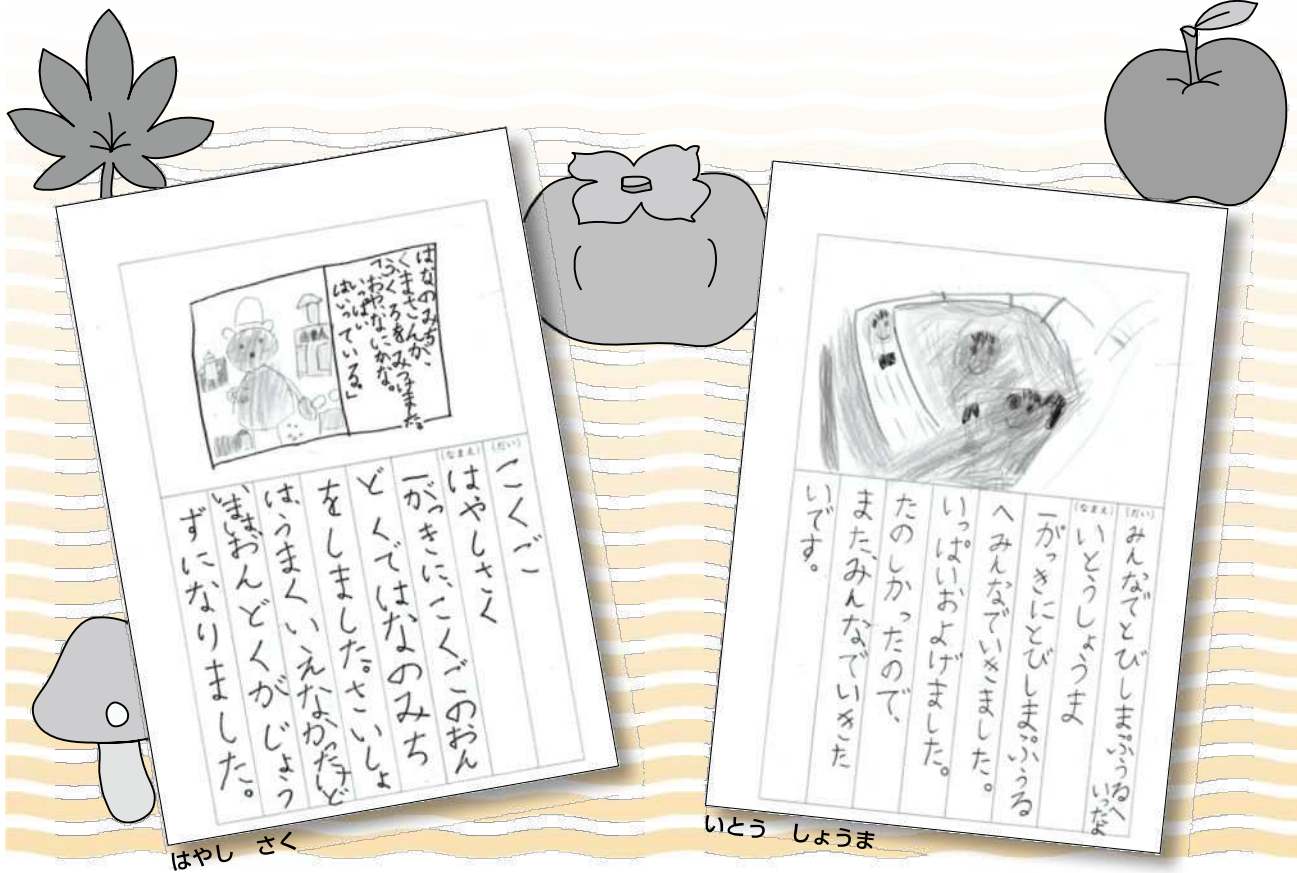
僕たち野球部の最後の大会は蟹江中と対戦して、十三対ゼロで完敗してしまいました。しかし、この試合では、チームの精一杯の力を出せたと思います。

僕は、この三年間の部活動の中で自信と体力をつけることができました。毎日の部活の練習で仲間に守備のアドバイスをしてもらったり、ノックで連携などの動作を一つ一つ確認したりして、より自信をつけることができました。僕は小学生の時、体力が全然なかったけれど、雨の日の部活動での筋トレや階段ダッシュなどを通して体力をつけることができました。

僕が七年生の時には、新型コロナウイルスの影響で、部活動がほとんどできなかったため、一回一回の練習をより丁寧にすることを意識しました。そして、八年生の時に晝中と合同練習を繰り返して、中日少年軟式野球津島地区大会では、一回戦を突破することができました。九年生になって後輩が入



部してきて、飛鳥学園として最後の大会に出場することができるようになり、とても嬉しかったです。その新チームでの最後の大会で僕はキャッチャーをすることになりましたが、練習の期間が短かったため、あまり力を発揮することができませんでした。しかし、キャプテンとバッテリーを組んで試合ができたので、とても嬉しかったです。残念ながら最後の大会では負けてしまったけれど、これからの学校生活や私生活に生かしていきたいと思っています。



## 部活動を振り返って

九年A組 大谷 一加

私は七年生になって体をたくさん動かしたいと思い、ソフトテニス部に入りました。しかし、コロナの影響で、部活動がなかなかできませんでした。限られた部活動の中で先輩の姿をしつかり見て、打ち方や後衛の動きを真似して、学べることはしつかりと学べたと思います。九年生になってから、コロナが落ち着いてきて、さらに、先輩たちと気軽に話すことができたので、純粹に部活動が楽しいと思えるようになりました。今では、一日でも長く部活動をしたと思うようになりました。私は、ボールの打ち方やサーブをするとき、いつも誰かの真似をしていたので、自分なりの打ち方というものがあるのが最初から最後までありませんでした。なので、安定してボールを返すことができないという最大の弱点がありました。結局、安定させることができず、最後の大会では、多く戦うことはできませんでした。しかし、キャプテンとペアを組んで、うまくいったプレーは褒め合い、うまくいかなかったときは励まし合うことができました。

## 飛島学園11月の行事予定

- 1日(火)代休(6年生)
- 1日(火)2日(水)第4回テスト(後期課程)
- 2日(水)社会見学(3年生)
- 4日(金)社会見学(1年生)
- 8日(火)進路説明会(6限8・9年生保護者)
- 9日(水)社会見学(4年生)
- 14日(月)、21日(月)、28日(月)英語教室(8年生)
- 17日(木)初等部文化祭 授業参観(3・4限)  
進級説明会(5限6年生保護者)
- 21日(月)~24日(木)3者懇談(9年生)
- 24日(木)クラブ(5・6年生)



た。一緒に笑って、楽しんで部活動ができたことがとても嬉しかったです。私は先輩に何も教えることはできませんが、先輩のみんなが部活動を楽しんで、私たちよりも強くなつて、部活動を楽しむことを受け継いでくれたらいいなと思います。